



三光産業<7922>がMBO、株式非公開化へ



国内電機メーカー向けにシールやラベル、ステッカーなどの特殊印刷品を製造する三光産業は、取引先の海外移転に伴う国内の印刷需要の低下や海外メーカーとの競争激化、資源価格の高騰など、事業環境が悪化していることを背景に、株式を非公開化することで経営判断の迅速化を図る。

上場廃止により、提案型営業に向けた積極的な投資や、野菜調理器製造販売事業などの新規事業の拡大、M&Aなどを活用した成長分野への進出を進める。

同社の石井正和社長が全株式を保有するバロン（東京都渋谷区）がMBO（経営陣による買収）の一環としてTOB（株式公開買い付け）を実施し、株式を非公開化する。

買付価格は1株につき726円で、公表前営業日の終値437円に対して66.13%のプレミアムを加えた。買付代金は約56億6100万円。

買付予定数は779万7826株で、下限は519万2600株（所有割合66.59%）。買付期間は2026年2月4日～3月19日までの30営業日。決済の開始日は3月26日。公開買付代理人はSMBC日興証券。

三光産業はTOBに賛同を表明し、株主に応募を推奨している。

三光産業は1960年に設立。1989年に株式を店頭登録し、2004年にジャスダック市場に上場した。2022年4月には東証スタンダード市場に移行している。